

競技注意事項

1. 競技規則

本大会は 20 年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習場および練習について

- ① ウォーミングアップは補助競技場ならびに競技場周辺を使用すること。
ただし、男女 5000m 終了後から、9:20 頃まで競技場内をウォーミングアップとして解放する(アナウンスの指示に従う)。
ハードル種目に関しては、ホームストレートにハードルを設置する。
競技場を使用する者は審判員の指示があり次第、速やかに撤収すること。
- ② フィールド競技種目の練習は審判員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所で行う。
- ③ 雨天走路内での練習は禁止とする。

3. 競技の招集方法について

- ① 招集完了時刻は次の通りとする。
トラック種目は競技開始時刻の 20 分前、フィールド種目は 40 分前。
- ② 一次招集はスタンド入り口に設置したスタートリストに○をつけ、出場の意思表示をする。
招集完了時刻までに○印がない者は棄権とみなし出場させない。
- ③ 選手は、招集完了時刻までに指定された入場ゲート前で腰ゼッケンをもらい、競技者係の指示に従い競技場内に入場する。スタート地点で最終コールを行う。
- ④ スタート前の待機場所やフィールド競技の控え場所では、審判の指示に従い、ソーシャルディスタンスを維持し、指定された場所のみで待機すること。
- ⑤ 競技場内の導線について、大会で指定された経路を遵守すること。
導線図は別ページに掲示する。

4. 競技について

- ① 競技用滑り止めを使用する種目では、滑り止めの共有をしない。
使用する場合、1 回の試技ごとに審判から受け取る。
- ② ナンバーカードは、胸、背部に確実につけること。
ただし、跳躍競技は胸部もしくは背部のみでもよい。
- ③ 競技用具は、原則として会場備え付けのものを使用するが、検定を受けた用具のみ使用可能とする。
- ④ トラック種目のスタート合図はイングリッシュコマンドを用い、不正出発(フライング)は 1 回で失格とする。
- ⑤ 投擲用具は、一般・中学用のものを使用する。

5. その他

- ① 記録証を必要とする者は、役員係に申し出ること。
- ② 大会当日は荒天・雷雨等により競技を中断・中止することがある。
- ③ 貴重品については各自が注意し、もし盗難が起きた場合も責任は負いかねる。また、荷物は各自で責任を持って管理すること。